



平成30年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成30年3月15日

上場会社名 株式会社 銚子丸 上場取引所 東
 コード番号 3075 URL <http://www.choushimaru.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 満
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 仁科 善生 TEL 043-350-1266
 四半期報告書提出予定日 平成30年3月29日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年5月期第3四半期の業績（平成29年5月16日～平成30年2月15日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年5月期第3四半期	13,939	△4.1	249	△57.7	278	△54.8	165	△53.9
29年5月期第3四半期	14,531	△2.5	590	△9.9	617	△12.8	358	△16.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年5月期第3四半期	60.55	—
29年5月期第3四半期	131.47	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年5月期第3四半期	9,065	6,062	66.9	2,222.12
29年5月期	8,973	5,979	66.6	2,191.66

(参考) 自己資本 30年5月期第3四半期 6,062百万円 29年5月期 5,979百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年5月期	—	0.00	—	30.00	30.00
30年5月期	—	0.00	—	—	—
30年5月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年5月期の業績予想（平成29年5月16日～平成30年5月15日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,386	△5.9	349	△62.2	376	△60.8	140	△69.4	51.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P.6「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年5月期3Q	2,903,600株	29年5月期	2,903,600株
② 期末自己株式数	30年5月期3Q	175,480株	29年5月期	175,416株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年5月期3Q	2,728,152株	29年5月期3Q	2,728,228株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき策定したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、政府や日銀の経済・金融政策を背景に企業収益や雇用・所得環境の改善が続くなど、緩やかな回復基調で推移しましたが、一方で海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響などにより、先行き不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、依然として消費者の強い節約志向に加え、食材全般にわたる不足感から仕入価格の高騰傾向が止まず、また、労働需要の逼迫に伴う労働単価の上昇及び人材確保が大きな課題になる等、厳しい経営環境が続いております。

このような状況において、販売促進につきましては、「アイルランド産天然本まぐろ」や、「メキシコ産本まぐろ」など、当社の主力商品である「まぐろ」にこだわった「高品質」かつ「お得感」のあるイベントメニューの充実と、年末年始においては「車海老」や「本ずわいがに」など『迎春』にこだわった銚子丸らしい商品開発に努め、お客様の来店動機高揚を図ってまいりました。

店舗開発につきましては、当第3四半期累計期間における新規出店はなく、一方で、限られた人的資源の有効活用を図るために、四つ木店(平成29年5月)、上福岡店(平成29年6月)及びあざみ野店(平成30年1月)を閉店しました。この結果、当第3四半期会計期間末の店舗数は90店舗となっております。また、既存店強化のために、当第3四半期累計期間において、席数増加・作業性・イメージアップを重視した改装を7店舗実施しました。

売上につきましては、夏期の長期天候不順と冬期の度重なる降雪による客数減、店舗勤務者の人手不足による新規出店の遅れ、および平成29年12月度より本格的に取り組みを開始した店舗勤務者の労務改善を目的とした一部店舗の営業時間短縮や臨時休業日の設定などの影響により、当第3四半期累計期間における売上高は139億39百万円(前年同期比4.1%減)となりました。また、利益面については、経費削減に注力したものの、売上高の減少に加え、食材全般の不足感による原材料価格の高騰や、労働需給の逼迫に伴う人件費の増加、既存店強化を目的とした改装に係る修繕費の増加などが影響し、営業利益は2億49百万円(同57.7%減)、経常利益2億78百万円(同54.8%減)、四半期純利益は1億65百万円(同53.9%減)となりました。

(注)金額に消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期会計期間末における資産は、前事業年度末に比べ91百万円増加し、90億65百万円(前事業年度末比1.0%増)となりました。主な要因は、次のとおりであります。

流動資産は、前事業年度末に比べ1億98百万円増加し、64億31百万円(同3.2%増)となりました。主な内訳は、現金及び預金の増加3億11百万円であります。

固定資産は、前事業年度末に比べ1億6百万円減少し、26億34百万円(同3.9%減)となりました。これは主に、店舗設備の減価償却費および減損損失の計上によるものであります。

(負債・純資産)

当第3四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ8百万円増加し、30億3百万円(前事業年度末比0.3%増)となりました。主な要因は、次のとおりであります。

流動負債は、前事業年度末に比べ18百万円減少し、25億90百万円(同0.7%減)となりました。主な内訳は、短期借入金の増加2億46百万円ならびに未払法人税等の減少2億58百万円であります。

固定負債は、前事業年度末に比べ27百万円増加し、4億13百万円(同7.2%増)となりました。主な内訳は、その他(リース債務等)の増加34百万円であります。

純資産は、前事業年度末に比べ82百万円増加し、60億62百万円(同1.4%増)となりました。主な内訳は、利益剰余金の増加83百万円であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、売上高183億86百万円、営業利益3億49百万円、経常利益3億76百万円、当期純利益1億40百万円を見込んでおり、現時点で変更はございません。

今後の見通しにつきましては、引き続き寿司業態に事業領域を集中し、東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県の一都三県に出店地域を特化して新規出店候補地を厳選してまいります。第41期(平成29年5月16日から平成30年5月15日まで)の新規出店数は、1店舗を計画しております。

但し、食材に係る安全性の問題、市場変動等が生じた場合には、当社の業績見通しに影響を与える可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年5月15日)	当第3四半期会計期間 (平成30年2月15日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,531,479	5,842,486
売掛金	81,091	60,085
原材料及び貯蔵品	190,225	153,787
その他	430,391	374,950
流動資産合計	6,233,188	6,431,308
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	967,953	876,713
その他(純額)	378,430	413,780
有形固定資産合計	1,346,384	1,290,493
無形固定資産	21,367	14,945
投資その他の資産		
敷金及び保証金	864,477	836,999
その他	509,563	493,180
貸倒引当金	△1,078	△1,078
投資その他の資産合計	1,372,962	1,329,101
固定資産合計	2,740,715	2,634,540
資産合計	8,973,903	9,065,848
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,095,801	1,136,102
短期借入金	60,000	306,000
資産除去債務	5,427	—
未払金	921,934	814,073
未払法人税等	258,359	—
賞与引当金	110,600	168,240
株主優待引当金	34,249	27,559
店舗閉鎖損失引当金	13,400	2,000
その他	109,399	136,507
流動負債合計	2,609,172	2,590,483
固定負債		
資産除去債務	206,353	199,111
その他	179,136	214,034
固定負債合計	385,489	413,146
負債合計	2,994,661	3,003,629

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年5月15日)	当第3四半期会計期間 (平成30年2月15日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	315,950	315,950
資本剰余金	236,829	236,829
利益剰余金	6,173,039	6,256,395
自己株式	△746,669	△746,956
株主資本合計	5,979,149	6,062,219
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	92	—
評価・換算差額等合計	92	—
純資産合計	5,979,242	6,062,219
負債純資産合計	8,973,903	9,065,848

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年5月16日 至平成29年2月15日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年5月16日 至平成30年2月15日)
売上高	14,531,315	13,939,110
売上原価	6,034,633	5,910,448
売上総利益	8,496,682	8,028,662
販売費及び一般管理費	7,906,255	7,779,189
営業利益	590,426	249,472
営業外収益		
受取利息	2,300	1,747
協賛金収入	16,658	18,470
その他	10,264	10,573
営業外収益合計	29,224	30,791
営業外費用		
支払利息	1,250	853
現金過不足	1,038	605
その他	0	2
営業外費用合計	2,289	1,461
経常利益	617,361	278,802
特別利益		
固定資産売却益	1,632	64
店舗閉鎖損失引当金戻入額	—	6,000
特別利益合計	1,632	6,064
特別損失		
固定資産除却損	865	6
減損損失	28,627	24,491
店舗閉鎖損失引当金繰入額	10,800	—
特別損失合計	40,293	24,498
税引前四半期純利益	578,701	260,369
法人税等	220,027	95,167
四半期純利益	358,673	165,201

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。